

011 From Editor

013 表紙の時計／ブライトリング、ナビタイマー B 01 クロノグラフ 43

014 Editor's Choice!

タグ・ホイヤー、アクアレーサー プロフェッショナル 300 オレンジダイバー

テイソ、テイソ シースター 20000 プロフェッショナル

ロンジン、レジェンドダイバー

セイコー プロスペックス、1970 メカニカルダイバーズ 現代デザイン Save the Oceanモデル

018 世界は時計で回っている。

020 ルイ・ヴィトン、タンブルスピン・タイム エアークォンタム、タンブルスリム ヴィヴィエンヌ ジャンピンアワー、ほか

ユニークな発想とそれを実現する技術と発想で我が道を歩む

024 モリッツ・グロスマン、セントラルセコンド

センターセコンドの細く長い針で表現された美学

026 ポール・ウォッチ、エンジニア M パイオニア

次世代キャリバーを搭載した実用時計の誕生

028 ロンジン、ウルトラクロン、ロンジン スピリットズールータイム

アーカイブを紐解き、豊かな歴史を現代に伝える新作

031 2022年ブランド別新作情報／ウォッチズ&ワンダーズ ジュネーブ 2022、その他

発想の力と創造への意欲が生み出した
魅力溢れる時計たち

過去2年間はオンラインのみで開催されたウォッチズ&ワンダーズジュネーブは初めてジュネーブのパレキスポで行われ、2019年まではバーゼルに出展していた19ブランドも加わり38ブランドが新作を披露した。このなかから26ブランドの新作の概要をみてみたい。またブルガリ、ベル&ロス、ブレゲ、オメガ、シチズンの新作を取り上げる。

081	時計も未来を考える II
	「持続可能な社会」を目指して二歩先んじる人々
	多角的にサステナビリティに取り組みシチズン、「責任ある調達」を推進し、エシカルゴールドのみを使うシヨパール、 時計にオーシャン・プラスチックを採用し、また「トムフォード」プラスチック・イノベーション「を創設したトムフォードを取り上げる。
090	ウブロ「ビッグ・バン」、クラシック・フュージョン、スピリット・オブ・ビッグバン
	原点に立ち返り、イエローゴールドを纏った6モデル
092	カール F. ブヘラ「ヘリテージ」バイコンバックスアニマルホームタウンエディション
	深い繋がりのある16都市に捧げるカラフルな限定モデル
093	「WAKOウオッチ 時計塔90周年限定モデル」、ブランドセイコーエポリューション9コレクション 時計塔90周年 和光限定モデル
	銀座の街を見つめ、時を告げて90年を記念して
094	ジラルール・ベルゴ「キャスト」
	再び姿を現した1970年代の近未来ウォッチ
095	ホーム&メルシエ「ハンプトン」ピエール・スライジューへのオマージュ
	現代を代表する抽象画家の作品を再現
096	ノルケイン「フリーダム60クロノ」
	2種類のヴィーガン認定ストラップと共に登場した40mmサイズ
097	セイコー「キングセイコー」
	60余年を経て甦った往年の国産機械式時計
098	「ディンシースター1000クォーツ36mm」、ディンシーPRXクォーツ35mm
	人気モデルにジェンダーレスに訴える小ぶりなサイズが登場
099	カシオ「MTG-B3000」、GMW-B5000TVB
	さらに進化を遂げた耐衝撃構造と、表面加工の新たな試み
100	腕時計新着情報
104	ルイ・ヴィトン 神戸店
105	スイスの時計産業と日本を繋ぐスイス時計協会(FH)第4回
106-112	インフォメーション／問い合わせリスト／次号予告

ルイ・ヴィトン「タンブルスピン・タイム エアークアンタム」、タンブルスリム ヴィヴィエンヌ ジャンピングアワー」ほか

ユニークな発想とそれを実現する技術力で我が道を歩む

誕生から20年目を迎えた今年、タンブルスピン・タイム エアークアンタム、そして ヴィヴィエンヌが茶目つ気たっぷりの表情で「いま何時分？」と問いかける「タンブルスリム」。これらの仕掛けを見てみたい。



Photo/©Ulysee Frechen

イルミネーション・デバイスを搭載し、リュウズと一体となったプッシュボタンを押すとLEDが点灯し、12個のキューブが発光しているように見える。LEDはフランジの下に置かれたリングで固定され、毎日6、7回押しでも3年間は持続し、電子部分やムーブメントに影響を与えることなく電池交換も可能だ。リュウズの底部には電池残量インジケータの役割をするサファイア・クリスタル製のリングがあり、電池交換が必要になると点滅する。

ルイ・ヴィトンが「タンブル」で本格的に時計の世界に進出してから20年目を迎えた。このわずかな期間にジュネーブ・シールを取得し、次々とハイコンプレーション・ウォッチを発表し、高級時計の世界での存在を確立した。明確な個性に加えて、時計メーカーとは一線を画したユニークな発想のモデルを打ち出してきたことが成功の一因だろう。もちろん2011年に傘下に収めたミシエル・ナバス氏とエンリコ・バルバシニ氏のふたりの時計師が率いるラ・ファブリク・デュ・タンの存在は大きい。

そして今年はいくつかのテクノロジーの技術と機械式時計を融合させる、という新たな発想の「タンブルスピン・タイム エアークアンタム」が登場した。キューブが回転して時を示すスピン・タイム自体も従来のジャンピングアワー機構の枠を超えた3次元の表示として注目された。誕生は2009年のこと。

ラ・ファブリク・デュ・タンはこれに注目し、ルイ・ヴィトン・ウォッチの個性のひとつとして発展させるために改良に乗り出した。そして2014年にはキューブは瞬転に近いものとなり、その後は多くのバリエーションが生まれている。

スピン・タイムは一般的な自動巻きムーブメントをベースに、12個のキューブひとつひとつにマルタ十字型の歯車を付け、それぞれが12時間に1度回転するモジュールを装備する。2019年にはキューブが宙に浮いたように見える「スピン・タイム エアーク」が登場し、キューブの3次元の動きをさらに楽しめるものとなった。さらにこの楽しさを倍増したのが、12個のキューブがオンデマンドで光を放ち、まるで深海生物が発光するようにキューブが内側から光を放っているような「スピン・タイム エアークアンタム」だ。クアンタムは量子を意味し、モデル名は量子物理学の分野で扱われる量子のひとつである光子に由来する。

文字盤の中央には自動巻きのカリ・LV68を装備し、12個の石英ガラス製のキューブが取り付けられる。スピン・タイムのキューブは通常は圧延アルミニウムが使われるが、LEDの光を通すために純度の高い透明度をもつ石英ガラスが採用された。

フランジの内側には12個のLEDを納めたリングと集積回路、ふたつの電池から成る小型のイルミネーション・デバイスが納められている。エレクトロニクス部分をムーブメントの外側に配置することで、12・3mmという他の「タンブルスピン・タイム エアーク」と変わらない厚さが維持された。リュウズと一体となったプッシュボタンを押すとLEDがキューブに向かって光を放ち、押ししている間は点灯し、指を放した後も3秒間点灯する。

自由な発想とそれを実現した先端技術がタンブルに新たな扉を開いた。

ロンジン ウルトラクロン、ロンジン スピリットブルータイム

アーカイブを紐解き、豊かな歴史を現代に伝える新作

ロンジンの創業は1832年に遡り今年には190年目を迎えた。この長い歴史を紐解き、過去の財産を現代に語り継ぐ製品の開発が進められている。今年第一弾としてアーカイブに残る時計に着想を得て、現代的な要素を盛り込んだふたつの新作が発表された。



「ウルトラクロン」。直径43.0mm×厚さ13.6mmのステンレス・スチール・ケースに自動巻きのCal.L836.6(25石、毎時3万6000振動、パワーリザーブ最大52時間。シリシウム製ヒゲゼンマイ)を搭載。30気圧防水。タイムラブ(TIMELAB)証明取得。タイムラブ(TIMELAB = Geneve Laboratory of Horology and Microengineering)はジュネーブを拠点とする時計と精密機器に関する財団で、ウルトラ・クロンはこの財団がスイス製機械式時計を対象に行っている天文台クロノメーター検査の認証を受けた。同機関はジュネーブ・シールの認証検査も行っている。SSブレスレット。交換用のブラックナイロン製NATOストラップとストラップ交換ツールを付属し、木製ボックスに収納。価格48万7300円。ブラウンのレザー・ストラップ仕様も用意される。価格45万9800円。



ロンジンは創業から間もない1840年代後半にはアメリカに進出していたが、「1886年にはニューヨークのスポーツ審判員の装備の大半を請け負っていた」という。1876年にクロノグラフ機能を備えたムーブメントを開発したことが計時の分野にも力を入れるきっかけとなったのだろう。今日ではスウォッチグループでスポーツ計時を専門とするスイス・タイムイング社との協業体制となっているが、ロンジンにとってスポーツ計時は重要な柱であることは変わらない。

1914年には1/10秒計測が可能なストップウォッチを発表。1968年には毎時3万6000振動のムーブメントを搭載したウルトラクロンダイバーを発売した。今年はこの時計のクッション・ケースを復刻し、シリシウム製ヒゲゼンマイを装備する、毎時3万6000振動のCal.L836.6を搭載したウルトラクロンが登場した。時計の完成品に対してISO3159の規格への適合を15日間にわたって検査するタイムラブのクロノメーター認証を受けている。

1968年製の「ウルトラクロンダイバー」



ロンジンは1966年に毎時3万6000振動のムーブメントを搭載した腕時計を「ウルトラクロン」と名づけて商標登録した。これはウルトラクロノメーターの略で、日差2秒の精度を保証。1968年にはウルトラクロン初のダイバーズ・ウォッチを発売した。200m防水の直径41mmのステンレス・スチール・ケースにCal.431(17石、毎時3万6000振動)を搭載し、日付表示と逆回転防止ベゼルを備え、インデックスとベゼルの三角マークにはトリチウムの蛍光塗料が塗布された。

2022年ブランド別新作情報(ウオッチズ&ワンダース ジュネーブ 2022 / その他)

発想の力と創造への意欲が生み出した 魅力あふれる時計たち

3月30日から4月5日までの7日間にわたってジュネーブのパレキスポでウオッチズ&ワンダースジュネーブ2022が開催された。過去2年間は新型コロナウイルスのためオンラインのみの発表だったが、今年は初めてジュネーブでの開催とオンラインのハイブリッド形式がとられた。参加ブランドは38、そのうち19は初めてジュネーブに出展し、各社持ち味を生かした意欲作を披露した。



例年通り初日にはジュネーブ市の儀典長によるオープニング・セレモニーが行われた。オンラインで見るとは閑散とした印象だったが、主催者側によると約1000人のプレス関係者を含む2万2000人が訪れたという。ちなみに過去最高であった2019年は2万3000人を記録した。

時計も未来を考える〈Ⅱ〉

「持続可能な社会」を目指して一歩先んじる人々

SDGsやサステナビリティ、持続可能性という言葉が日常的に聞かれ、二酸化炭素排出の削減やカーボンニュートラル、環境保護団体の支援などに力を注ぐ企業は多い。しかし製品面でのような取り組みを行っているのだろうか。特に若い世代はこの点を問題視する。今回はサステナビリティへの取り組みを製品で表現しているシチズン、シヨパール、トム・フォードを取り上げた。

Photo/César Nigrinis



コロンビアのバレケロスで伝統的な技法でゴールドを採掘する女性

ワールド・ムック1273
WORLD WRIST WATCH

KESAHARU IMAI
Publisher

TOMOKO KAYAMA
Editor in Chief

KAZUO TSUBOI
Advertising Director

SHUNSUKE OGAWA
Production Director

HIROSHI SASAGAWA
Circulation Manager

DTP
BASE

Correspondent
Washington, D.C. Bureau
(Pictorial Press International)
Mikako Burks

Cover Photo/
Takenori Aoki (WPP)

●本誌に掲載されている価格は
令和4年5月31日現在の調べによるものです。
本文中の価格は消費税(10%)込みの総額表示です。
© WORLD PHOTO PRESS 2022

【次号予告】

50周年を迎えた

オーデマピゲ ロイヤルオーク

1972年に誕生したロイヤルオークは今年50周年を迎えました。
ステンレススチールのスポーティ・ウォッチは当時としては異例の存在でした。
この時計がなぜ生まれたのか。誕生の背景を探るとともに
開発にまつわるエピソードをご紹介します。

また今年発表された新作にはどのような進化が見られるかを解いていきます。

2022年の新作

ウォッチズ&ワンダーズジュネーブ等で発表された新作のなかからすでに
市場にお目見えしているモデルの詳細を見ていきます。
また5月以降に発表された新作の概要をご紹介します。

「世界の腕時計」第153号は2022年9月8日発売予定です。

世界の腕時計 定期購読のご案内

毎号、送料無料でお届けします!

お近くに書店のない方、毎号確実に入手したい方
便利な定期購読を是非ご利用ください。
特別定価アップ分、および送料はサービスいたします。

【年間購読料】

1年間(年4冊) **6,704円(税込)**
(3月、6月、9月、12月・8日発売予定)



【お申し込み方法】

フリーダイヤル 富士山 富士山

●お電話で(年中無休24時間受付) **0120-223-223**

●インターネットから <http://fujisan.co.jp/sekainoudedokei>

●QRコードから 上記QRコードからアクセスして下さい。

【お問い合わせ】

富士山マガジンサービスカスタマーセンター

パソコンサイト: <http://fujisan.co.jp/cs>

メールの場合: cs@fujisan.co.jp

に、お問い合わせください。

■注意事項

- 定期購読の契約は、富士山マガジンサービスとの契約となります。
- お支払いのタイミングによっては、ご希望の開始号が後ろにずれる場合がございます。
- 地域によっては、発売日より商品到着が若干遅れる場合がありますので予めご了承下さい。
- 定期購読は原則として途中解約はできませんので予めご了承下さい。

編集の都合上、内容が一部変更となる場合もありますので、ご了承ください。

ワールドフォトプレス総合サイト <https://www.monomagazine.com>

WORLD M O O K

ワールド・ムック1273

世界の腕時計

No.152

令和4年7月15日発行

発行人……………今井今朝春

編集人……………香山知子

発行所……………株式会社ワールドフォトプレス

〒166-0004東京都杉並区阿佐谷南1-12-1

アズ阿佐ヶ谷

編集部……………☎03-6383-2319 FAX.03-6383-2583

メディアビジネス部

……………☎03-5929-7682 FAX.03-6304-9443

販売部……………☎03-6383-2390 FAX.03-6383-2574

印刷所……………大日本印刷株式会社

- 造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がありましたら
小社・販売部宛てにお送りください。送料小社負担にてお取替えいたします。
- 本誌掲載記事の無断転載・複製・転写を禁じます。